

平成 16 年度

会計室予算要求方針

- 目 次 -

| | | | |
|---|----------------------|------------|---|
| 1 | 平成16年度会計室予算要求総括表 | ・・・・・・・・・・ | 1 |
| | 【一般会計】 | | |
| 2 | 16年度予算要求にあたっての基本的考え方 | ・・・・・・・・・・ | 2 |
| 3 | 予算要求の重点事項 | ・・・・・・・・・・ | 3 |
| | その他 | | |

1 平成 16 年度会計室予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 15 年度 予 算 額 A | 平成 16 年度 要 求 額 B | 増 減 額 B - A | 増減率 (B - A) / A |
|-------------------|------------------------|------------------------|----------------|----------------------------|
| 会計室 一般事務経費 | 3 5 1 (2 3 6) | 3 4 2 (2 3 6) | 9 (0) | 2 . 6 % (0 . 0 %) |
| 会計室 財務会計システム開発 | 0 | 8 3 (8 3) | 8 3 (8 3) | - % (- %) |
| 合 計 | 3 5 1 (2 3 6) | 4 2 5 (3 1 9) | 7 4 (8 3) | 2 1 . 1 % (3 5 . 2 %) |

2 16年度予算要求にあたっての基本的考え方

会計室では、地方自治法の規定に基づき、収入役の権限に属する事務（会計事務）を処理している。具体的には、現金、物品等の出納及び保管、現金及び財産の記録管理、支出負担行為に関する確認、決算の調製などである。

会計室における一般事務経費（342百万円）のうち、市税等の収納及び公金支出の際の経費並びに各部局共通で必要とする事務用品等（用品）の一括購入費が全体の約86%（293百万円）を占めている。

これらの費用は、各原局が行う事業の結果として必要となるものであり、これら以外の事務経費について引き続き効率的な業務運営に努める。

3 予算要求の重点事項

その他

<システム整備>

財務会計システム開発

83百万円【重点，新規】

すでに専用端末による「財務会計システム」が稼働しているが，今回の再構築はイントラネット上での稼働及び「札幌市 IT 経営戦略」の柱となる「総合行政情報システム」との連携を図るためのものであり，平成 19 年度の本格稼働を目指し，16 年度に基本設計を行うものである。